

## 出前講座「磐井川砂防探検」

- 開催日時：平成26年8月27日（水）9時40分から12時00分
- 開催場所：一関市立清田小学校
- 参加者：5年生児童 9名

国土交通省岩手河川国道事務所では、総合的な学習の一環として出前講座を開催しております。

8月27日（水）北上川学習交流館「あいぽーと」において出前講座を実施し、一関市立清田小学校5年生児童9名が参加しました。

最初に「あいぽーと」の施設内を見学し、北上川流域マップを見ながら一関市街地や北上川の位置を学習しました。また、ゲリラ豪雨を監視するXバンドMPレーダーについてや、集中管理センターの役割についても学習しました。

次にバスに乗って現場を実際に見学。平成20年6月に発生した「岩手・宮城内陸地震」で落橋した祭時大橋をはじめ、現在工事が進められている槻木平砂防堰堤の工事現場や、市野々原被災地展望広場に行き、被害状況や対策工事について学習しました。

児童の皆さんからは「砂防堰堤が完成するまで何年かかるのか」とか堰堤の構造について質問するなど、とても興味深く学習しているようでした。

今日の出前講座を通じて、児童の皆さんは、自分達の住んでいる一関地域に6年前とても大きな地震があった事や、過去に何度も大洪水に見舞われてきた事、そして一関遊水地や砂防堰堤により、一関地域がどのように守られているのか学習出来たようでした。



「あいぽーと」にある集中管理センターを見学しました。



槻木平砂防堰堤を見学し、砂防の役割を勉強しました。



落橋した祭時大橋を見学し、岩手・宮城内陸地震について勉強しました。



今日は沢山教えて頂き、ありがとうございました。